

広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の公表

～ 平成28年5月 ～

この「財政状況の公表」は、後期高齢者医療制度の運営にお金がどのように使われているのかといった広域連合の財政状況を、皆さんに知っていただくため、毎年度、5月に下半期分（前年10月1日から3月31日まで）の財政状況と当年度の当初予算を、11月に上半期分（4月1日から9月30日まで）の財政状況と前年度の決算状況を「広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき公表するものです。

今回は、平成27年度下半期（平成27年10月1日から平成28年3月31日まで）の予算の執行や財産の状況と平成28年度の当初予算について公表します。

また、最後に、主要な予算科目の内容について簡単に説明していますので参考にしてください。

財政の動向及び財政方針

国においては、平成29年度までを目途に、社会保障制度改革の工程表と位置づけられる「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律」(プログラム法)に盛り込まれた項目を順次実施するとともに、医療保険制度改革の議論を踏まえ、高齢者医療制度の在り方について、保険料の軽減特例や後期高齢者支援金の負担方法など、必要に応じた見直しの検討を行なっています。

このような中、当広域連合では、平成27年度は、レセプト点検をはじめ、後発医薬品差額通知や重複・頻回受診指導を実施するとともに、健康診査や歯科健康診査などの保健事業等を市町と一体となって取り組み、安定的な制度運営に努めました。

平成28年度は、新しい保険料率の初年度にあたるため、これを算定する際に用いた被保険者数や医療給付費等を基に予算編成を行いました。医療給付費は伸びが抑制基調となりつつあることから、平成28年度特別会計当初予算額は、医療給付費の伸びを大きく見込んだ平成27年度当初予算額に比べ、3.0%の減となりました。また、制度運営に必要な事務費については、財務会計システム等構築費などの総務費が増加したため、平成28年度一般会計当初予算額は、平成27年度当初予算額に比べ、0.9%の増となりました。

当広域連合としては、引き続き歳入歳出両面について改善に取り組むとともに、今後も国の動向を注視しつつ、全国の広域連合など関係団体と更なる連携を図り、広島県及び広域連合を構成する県内市町の協力を得ながら、被保険者が安心して医療が受けられるように、健全な財政運営に努めます。

平成27年度下半期財政状況

～予算執行の状況と資産等の概要～

以下で説明する財政状況は、平成28年3月31日現在で記載しています。

1 平成27年度下半期の補正予算の概要

下半期の補正予算は、次のとおりです。

(1) 一般会計

第1号補正(2月)

(歳入)

- ・ 財政調整基金の利子収入を増額(4万7千円)
- ・ 臨時特例基金利子収入を増額(11万8千円)
- ・ 特別会計事務費繰出金の減額等に伴い、財政調整基金繰入金を減額(△3,255万6千円)
- ・ 一般事務費の財源とするため臨時特例基金繰入金を増額(125万3千円)

(歳出)

- ・ 財政調整基金利子積立額を増額(4万7千円)
- ・ 臨時特例基金利子積立額を増額(11万8千円)
- ・ 後期高齢者医療特別会計の事務費の減額に伴い特別会計繰出金を減額(△3,130万3千円)

(2) 後期高齢者医療特別会計

第1号補正(11月)

(歳入)

- ・ 平成26年度の精算等に伴い市町負担金を増額(7億766万2千円)
- ・ " 特別調整交付金を増額(7千円)
- ・ " 決算剰余金を増額(15億1,728万5千円)
- ・ " 諸収入を増額(1,177万2千円)

(歳出)

- ・ 平成26年度の精算等に伴い市町支出金の返還金を増額(7,041万2千円)
- ・ " 国庫支出金の返還金を増額(1億8,324万2千円)
- ・ " 県支出金の返還金を増額(13億164万4千円)
- ・ " 保険料還付金等を増額(10万6千円)
- ・ " 給付準備基金への積立金を増額(6億5,301万8千円)
- ・ 保険料過年度減額更正に伴い保険料還付金等を増額(2,830万4千円)

第2号補正(2月)

(歳入)

- ・ 災害臨時特例補助金を増額(47万6千円)
- ・ 特別調整交付金の減額(△24万6千円)
- ・ 後期高齢者医療制度事業費補助金の増額(704万1千円)

- ・ 平成27年度保険料軽減措置に係る財源として交付される高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金を減額（△2億7,585万3千円）
 - ・ 後期高齢者交付金の精算額充実に伴う減額（△21億6,307万3千円）
 - ・ 事務費の減額に伴い事務費繰入金を減額（△3,130万3千円）
 - ・ 給付準備基金繰入金を増額（20億3,987万9千円）
 - ・ 臨時特例基金繰入金を減額（△17億7,161万4千円）
 - ・ 給付準備基金の利子収入を増額（132万1千円）
 - ・ 預金利子を減額（△352万4千円）
 - ・ 第三者納付金、返納金を増額（1億3,893万2千円）
- （歳出）
- ・ 事務費等の執行残額を減額（△3,676万6千円）
 - ・ 特別高額医療費共同事業拠出金を増額（158万3千円）
 - ・ 後期高齢者健診補助事業を減額（1,746万9千円）
 - ・ 高額医療費負担金の返還金（国庫・県費）を増額（589万6千円）
 - ・ 給付準備基金利子積立金を増額（132万1千円）
 - ・ 臨時特例基金積立金を減額（△20億4,746万7千円）

● 下半期の一般会計補正予算の状況

(歳入)

(単位：千円)

区 分	当初予算	9月末現在 予算現額	第1号補正 (2月)	3月末現在 予算現額
分担金及び負担金	959,896	959,896		959,896
国庫支出金	1	1		1
財産収入	176	176	165	341
繰入金	140,000	140,000	△31,303	108,697
繰越金	1	1		1
諸収入	216	216		216
合 計	1,100,290	1,100,290	△31,138	1,069,152

(歳出)

(単位：千円)

区 分	当初予算	9月末現在 予算現額	第1号補正 (2月)	3月末現在 予算現額
議会費	1,963	1,963		1,963
総務費	298,844	300,061	165	300,226
民生費	794,320	794,320	△31,303	763,017
公債費	163	163		163
予備費	5,000	3,783		3,783
合 計	1,100,290	1,100,290	△31,138	1,069,152

● 下半期の後期高齢者医療特別会計補正予算の状況

(歳入)

(単位：千円)

区 分	当初予算	9月末現在 予算現額	第1号補正 (11月)	第2号補正 (2月)	3月末現在 予算現額
市町支出金	63,549,421	63,549,421	707,662		64,257,083
国庫支出金	133,406,146	133,406,146	7	△268,582	133,137,571
県支出金	33,152,452	33,152,452			33,152,452
支払基金交付金	165,810,944	165,810,944		△2,163,073	163,647,871
特別高額医療費 共同事業交付金	58,623	58,623			58,623
財産収入	4,415	4,415		1,321	5,736
繰入金	4,668,267	4,668,267		236,962	4,905,229
繰越金	1	1	1,517,285		1,517,286
県財政安定化 基金借入金	1	1			1
諸収入	347,256	347,256	11,772	135,408	494,436
合 計	400,997,526	400,997,526	2,236,726	△2,057,964	401,176,288

(歳出)

(単位：千円)

区 分	当初予算	9月末現在 予算現額	第1号補正 (11月)	第2号補正 (2月)	3月末現在 予算現額
総務費	795,728	795,728		△36,766	758,962
保険給付費	397,556,987	397,556,987			397,556,987
県財政安定化 基金拠出金	169,181	169,181			169,181
特別高額医療費 共同事業拠出金	85,635	85,635		1,583	87,218
保健事業費	260,851	260,851		17,469	278,320
基金積立金	2,051,882	2,051,882	653,018	△2,046,146	658,754
公債費	3,247	3,247			3,247
諸支出金	49,015	49,015	1,583,708	5,896	1,638,619
予備費	25,000	25,000			25,000
合 計	400,997,526	400,997,526	2,236,726	△2,057,964	401,176,288

2 平成27年度下半期の歳入歳出予算の執行状況

平成28年3月31日現在の予算執行状況については次のとおりです。

●一般会計の予算執行状況

(歳入)

(単位：千円)

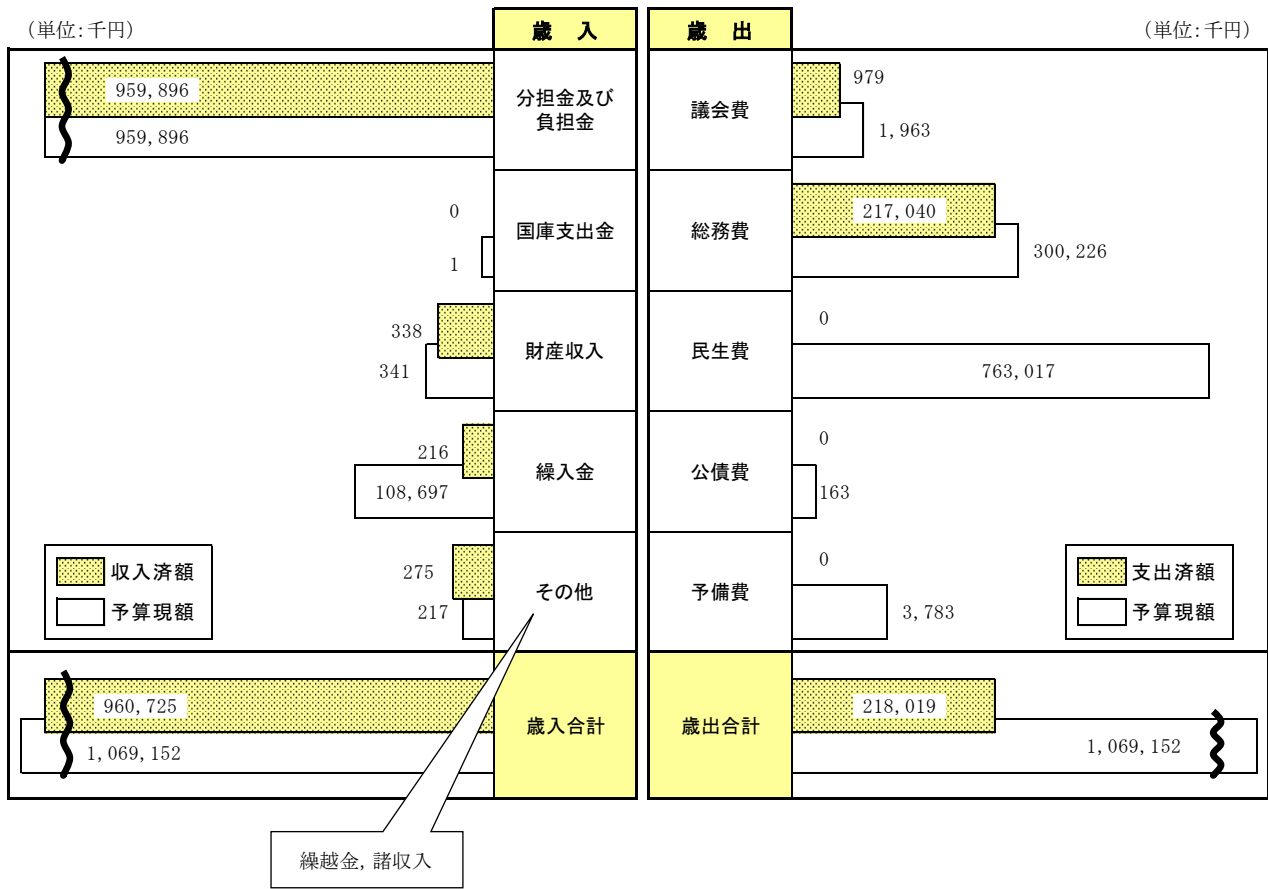
区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
分担金及び負担金	959,896	959,896	100.0%
国庫支出金	1	0	0.0%
財産収入	341	338	99.1%
繰入金	108,697	216	0.2%
繰越金	1	0	0.0%
諸収入	216	275	127.3%
合 計	1,069,152	960,725	89.9%

(歳出)

(単位：千円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
議会費	1,963	979	49.9%
総務費	300,226	217,040	72.3%
民生費	763,017	0	0.0%
公債費	163	0	0.0%
予備費	3,783	0	0.0%
合 計	1,069,152	218,019	20.4%

グラフ「平成27年度一般会計予算の執行状況（平成28年3月31日現在）」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

●後期高齢者医療特別会計の予算執行状況

(歳入)

(単位：千円)

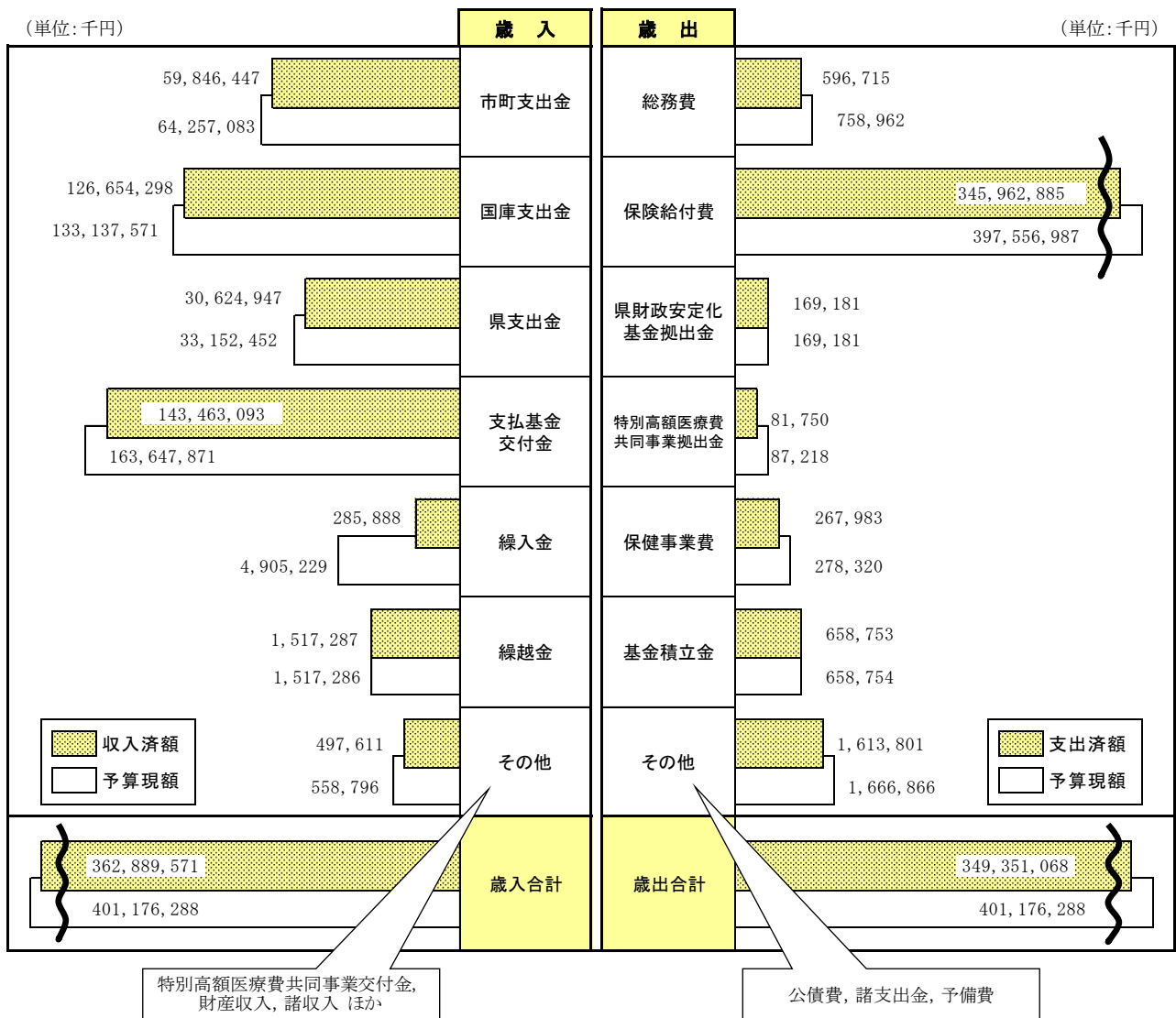
区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
市町支出金	64,257,083	59,846,447	93.1%
国庫支出金	133,137,571	126,654,298	95.1%
県支出金	33,152,452	30,624,947	92.4%
支払基金交付金	163,647,871	143,463,093	87.7%
特別高額医療費 共同事業交付金	58,623	65,424	111.6%
財産収入	5,736	5,735	100.0%
繰入金	4,905,229	285,888	5.8%
繰越金	1,517,286	1,517,287	100.0%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%
諸収入	494,436	426,452	86.3%
合 計	401,176,288	362,889,571	90.5%

(歳出)

(単位：千円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
総務費	758,962	596,715	78.6%
保険給付費	397,556,987	345,962,885	87.0%
県財政安定化 基金拠出金	169,181	169,181	100.0%
特別高額医療費 共同事業拠出金	87,218	81,750	93.7%
保健事業費	278,320	267,983	96.3%
基金積立金	658,754	658,753	100.0%
公債費	3,247	0	0.0%
諸支出金	1,638,619	1,613,801	98.5%
予備費	25,000	0	0.0%
合 計	401,176,288	349,351,068	87.1%

グラフ「平成27年度後期高齢者医療特別会計予算の執行状況（平成28年3月31日現在）」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

3 広域連合が所有する財産の現在高

広域連合では、その行政目的を達成するため、財産を管理・運用しています。

財産は、管理状況を明確にし、常にその目的に応じて最も効率的に運用するように努めています。

平成28年3月31日現在において、広域連合が所有する財産は、次のとおりです。

【物 品】

区 分	数 量	摘 要
物 品	3	財務会計システム1式, 広域連合システムデータベースサーバ関連機器1式, 広域連合システム処理結果検証用機器1式

(取得価格1件100万円以上の物品)

【基 金】

名 称	金 額 (円)	摘 要
財政調整基金	279,734,871	決算剰余金等を積み立て、不測の支出に備えるための基金
後期高齢者医療制度 臨時特例基金	0	被用者保険の被扶養者であった被保険者及び低所得の被保険者の保険料軽減措置の財源補てんのための基金 (平成27年度末基金事業終了)
後期高齢者医療給付 準備基金	9,469,404,682	徴収した保険料のうち、その年度に余ったものを積み立て、次年度以降の給付に充てるための基金

4 一時借入金及び地方債の借入状況

(1) 一時借入金

一時借入金とは、一時的な現金の不足を補うための短期借入金です。

平成27年10月1日から平成28年3月31日までの間の借入れはありませんでした。

(2) 地方債（広域連合債）

地方債とは、その償還が借入年度以降複数年にわたる長期の借入金で、多額の事業費の財源を確保し、費用負担の世代間格差を是正するためのものです。

平成28年3月31日現在において、借入れはありません。

5 住民負担の状況

被保険者に納めていただいた保険料は、医療給付等に要する費用に充てられる「保険料等負担金」として、各市町から広域連合に納付されています。

この他、各市町からは、広域連合の運営に要する費用に充てられる「事務費負担金」、及び医療給付に要する費用に一定の割合で充てられる「療養給付費負担金」が広域連合に納付されています。

平成27年10月1日から平成28年3月31日における各市町の納付額は、次のとおりです。

(単位：千円)

区分	保険料等負担金	事務費負担金	療養給付費負担金	合計
広島市	7,164,485	160,239	4,599,256	11,923,980
呉市	1,856,834	42,924	1,573,397	3,473,155
竹原市	208,422	7,370	211,923	427,715
三原市	665,209	19,367	629,246	1,313,822
尾道市	1,017,813	27,945	972,510	2,018,268
福山市	2,855,070	70,611	2,094,359	5,020,040
府中市	321,518	9,793	243,965	575,276
三次市	376,633	6,379	316,044	699,056
庄原市	291,448	10,885	328,647	630,980
大竹市	212,930	6,962	181,711	401,603
東広島市	888,470	26,455	722,848	1,637,773
廿日市市	745,464	19,408	549,875	1,314,747
安芸高田市	206,080	8,287	175,571	389,938
江田島市	214,406	7,410	209,594	431,410
府中町	326,570	8,968	207,054	542,592
海田町	170,977	5,818	125,451	302,246
熊野町	170,614	5,825	126,009	302,448
坂町	79,496	4,168	75,567	159,231
安芸太田町	68,757	3,904	66,050	138,711
北広島町	130,976	6,185	138,642	275,803
大崎上島町	79,521	4,052	95,129	178,702
世羅町	121,332	5,858	119,113	246,303
神石高原町	79,356	4,731	77,513	161,600
合計	18,252,381	473,544	13,839,474	32,565,399

平成28年度広域連合の当初予算

一般会計は、備品購入費（総務費）等の増加により、前年度比で958万5千円の増額としました。
特別会計は、1人当たり医療給付費の伸びが抑制基調に推移していることから、前年度比で121億5,445万6千円の減額としました。

1 一般会計

（歳入）

（単位：千円）

区 分	本年度 当初予算額	前年度 当初予算額	比 較
分担金及び負担金	1,009,438	959,896	49,542
国庫支出金	1	1	0
財産収入	126	176	△ 50
繰入金	100,000	140,000	△ 40,000
繰越金	1	1	0
諸収入	309	216	93
合 計	1,109,875	1,100,290	9,585

（歳出）

（単位：千円）

区 分	本年度 当初予算額	前年度 当初予算額	比 較
議会費	1,964	1,963	1
総務費	325,670	298,844	26,826
民生費	777,078	794,320	△ 17,242
公債費	163	163	0
予備費	5,000	5,000	0
合 計	1,109,875	1,100,290	9,585

2 後期高齢者医療特別会計

(歳入)

(単位：千円)

区 分	本年度 当初予算額	前年度 当初予算額	比 較
市町支出金	63,329,364	63,549,421	△220,057
国庫支出金	130,061,594	133,406,146	△3,344,552
県支出金	31,856,684	33,152,452	△1,295,768
支払基金交付金	160,386,245	165,810,944	△5,424,699
特別高額医療費 共同事業交付金	69,629	58,623	11,006
財産収入	3,929	4,415	△486
繰入金	2,780,844	4,668,267	△1,887,423
繰越金	1	1	0
県財政安定化 基金借入金	1	1	0
諸収入	354,779	347,256	7,523
合 計	388,843,070	400,997,526	△12,154,456

(歳出)

(単位：千円)

区 分	本年度 当初予算額	前年度 当初予算額	比 較
総務費	765,129	795,728	△30,599
保険給付費	387,594,851	397,556,987	△9,962,136
県財政安定化 基金拠出金	0	169,181	△169,181
特別高額医療費 共同事業拠出金	99,681	85,635	14,046
保健事業費	293,520	260,851	32,669
基金積立金	3,929	2,051,882	△2,047,953
公債費	3,247	3,247	0
諸支出金	57,713	49,015	8,698
予備費	25,000	25,000	0
合 計	388,843,070	400,997,526	△12,154,456

【市町からの事務費分担金の各市町の平成28年度分担額】

広域連合の事務費は、そのほとんどが市町の手分担金によって賄われています。

平成28年度の各市町の手分担金額は、広域連合規約で定められた割合（均等割10%、高齢者人口割50%、総人口割40%）により算出しています。

※分担金の計算に用いる基礎数値

(単位:千円)

(単位:人)

区分	分担金額	合計に占める割合
広島市	339,971	33.7%
呉市	89,570	8.9%
竹原市	15,332	1.5%
三原市	40,370	4.0%
尾道市	58,051	5.8%
福山市	149,258	14.8%
府中市	20,431	2.0%
三次市	26,439	2.6%
庄原市	22,252	2.2%
大竹市	14,609	1.4%
東広島市	55,924	5.5%
廿日市市	40,933	4.1%
安芸高田市	17,122	1.7%
江田島市	15,325	1.5%
府中町	19,098	1.9%
海田町	12,408	1.2%
熊野町	12,448	1.2%
坂町	8,738	0.9%
安芸太田町	8,118	0.8%
北広島町	12,779	1.3%
大崎上島町	8,442	0.8%
世羅町	12,130	1.2%
神石高原町	9,690	1.0%
合計	1,009,438	100.0%

高齢者人口	総人口
123,816	1,190,629
38,561	233,685
5,237	27,299
16,352	98,103
24,764	142,682
57,847	471,749
7,528	41,460
10,584	54,712
9,259	37,742
4,629	28,013
18,787	185,035
14,778	117,222
6,251	30,251
5,453	25,168
5,438	52,079
2,878	29,221
3,378	24,703
1,850	13,070
2,040	6,845
4,169	19,447
2,156	8,027
3,927	17,170
2,891	9,820
372,573	2,864,132

(注)

- ・端数処理の都合で割合の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・「高齢者人口」：平成27年9月30日現在の75歳以上の住民基本台帳
- ・「総人口」：平成27年9月30日現在の住民基本台帳

主要な予算科目の内容

1 一般会計

(歳 入)

区 分	説 明
分担金及び負担金	広域連合を構成する23市町からの事務費分担金
国庫支出金	「意見を聞く場」の設置等に要する経費に充てられる特別調整交付金
財産収入	基金の運用預金利子
繰入金	財政調整基金からの繰入れ
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
諸収入	その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
議会費	広域連合の議員報酬や議会の運営のための経費
総務費	職員の人件費や広域連合の運営に要する経費
民生費	後期高齢者医療特別会計の事務費等の経費に充てる繰出金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、借り入れる資金に対する支払利子
予備費	不測の支出に備えるための経費

2 後期高齢者医療特別会計

(歳 入)

区 分	説 明
市町支出金	被保険者から徴収した保険料や、被保険者が受けた医療給付の 1/12 相当の市町の公費負担
国庫支出金	被保険者が受けた医療給付の 3/12 相当の公費負担や、広域連合間の財政調整を目的とした調整交付金等
県支出金	被保険者が受けた医療給付の 1/12 相当の公費負担等
支払基金交付金	現役世代からの後期高齢者支援金
特別高額医療費 共同事業交付金	著しく高額な医療費の発生による影響を緩和するための交付金
財産収入	基金の運用預金利子
繰入金	一般会計、臨時特例基金、給付準備基金からの繰入金
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
県財政安定化基金 借入金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金からの借入金
諸収入	その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
総務費	後期高齢者医療制度の事務執行に伴う経費
保険給付費	療養給付費、高額療養費、葬祭費等の保険給付のための経費
県財政安定化基金 拠出金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金に積み立てる経費（国・県・広域連合の負担率各 1/3）
特別高額医療費 共同事業拠出金	全国の広域連合が負担し、特別高額医療費共同事業交付金の財源となる拠出金
保健事業費	各市町で行う被保険者の健康診査等の保健事業に対する補助金
基金積立金	臨時特例基金、給付準備基金への積立金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、借り入れる資金に対する支払利子
諸支出金	国庫負担金、県負担金、市町負担金の返還等に要する経費
予備費	不測の支出に備えるための経費